

2 コ空母編隊の西太平洋遠海訓練



央视新闻「遼寧in西太平洋：実弾を装着したJ-15が雨の中、外国機を駆逐」（出典：央视新闻客户端20250622）

2025. 6. 27

国家基本問題研究所 研究員 中川真紀

※ 本書の無断転載、複写、複製を禁じます。
衛星画像は著作権の関係上Maxar社の画像使用は別途申請が必要、またMGPProの画像は申請不可・転載禁止です。

防衛省発表 (6/8・11・17・23)

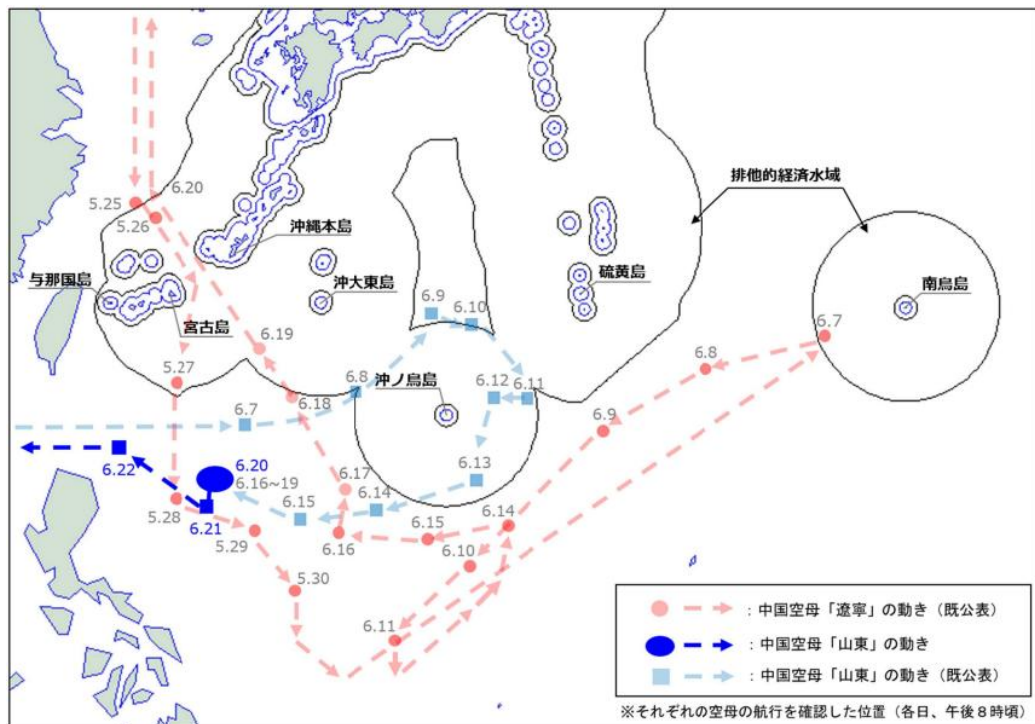
○ 遼寧編隊 (最大10隻)

- ◇ 6/7: 南鳥島EEZ内航行
- ◇ 5/25~6/19の間、約700回の発着艦。1日の最大発着艦回数 (ヘリ含む) : 90回

○ 山東編隊 (最大7隻)

公海上空でJ-15艦載戦闘機がP-3C哨戒機を追従、高度差がない状態で水平距離約45mの異常接近

- ◇ 6/7: 40分間追従
- ◇ 6/8: 80分間追従、P-3Cの針路前方約900m (高度差がない状態) を横切り
- ◇ 6/9~6/19の間、約420回の発着艦。1日の最大発着艦回数 (ヘリ含む) : 50回



中国軍機J-15 (6月8日撮影)



(出典: 左右共防衛省・統幕HPの図・写真に黄色字は筆者が追記)

- 全兵装ではないものの、空対空ミサイル装着し、追尾できる艦隊防空能力を保持
- 遼寧vs山東の対抗演習を実施し、グアム方向から台湾に接近する空母群を阻止する訓練を**実際の海域**で演練した可能性も

中国側報道；訓練間

海軍報道官発表（6/10）

- 遼寧・山東の空母編隊が西太平洋等で訓練実施、遠海防衛能力と統合作戦能力を検証
- 任務遂行能力の向上を目的とする年度計画に基づく定例訓練

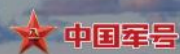


山東：J-15・J-15T×7
内少なくとも2機はJ-15T（推定）



@中国军号

（出典：中国軍号20250610）



遼寧：J-15・J-15T×11
内少なくとも6機はJ-15T（推定）



@中国军号

（出典：中国軍号20250610）

CCTV 4
中文国际

福建（電磁カタパルト搭載）

CCTV.com



（出典：CCTV中国新聞20250524）

- 5月に8回目の海上試験終了
- 年内に就役の可能性

今次訓練の目的

遼寧・山東はスキージャンプ式で固定翼早期警戒機が運用できないため、中国沿岸・南シナ海人工島からのレーダー覆域外での作戦は困難

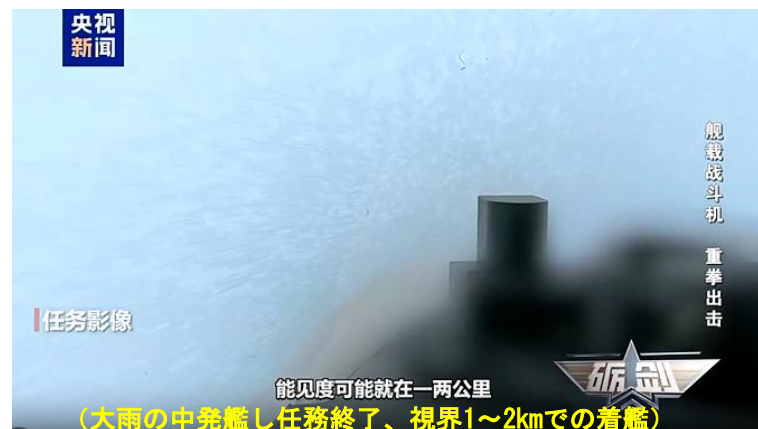
⇒ 福建就役を見据えた随伴艦・艦載機の実戦的訓練

- 有事の際、福建の運用を想定する**実海域**で、**空母と随伴艦（潜水艦含む）の連携**を演練
- 艦載機が**緊急避難可能な陸飛行場がない海域**で**実戦**に即した飛行訓練
- 第2列島線進出時の**日本の警戒監視態勢偵察**

中国側報道：遼寧訓練後

CCTV訓練報道（6/22）

- 「遼寧in西太平洋：実弾を装着したJ-15が雨の中、外国機を駆逐」を放映
- 外国の戦闘機4機編隊が遼寧の発艦基準線まで接近、実弾を装着したJ-15が悪天候の中、対応、駆逐したと報道



(出典：央视新闻客户端20250622に黄色字は筆者が追記、「任務影像」とある2枚は実際の訓練映像)

- 気象条件の悪い中でも一定の運用能力を保持
- 外国機は米軍機であり、**中国は第2列島線でのプレゼンスを開始したと国内及び台湾に喧伝した可能性**

空母運用構想（3隻の場合）

● 青島
(遼寧母港南鳥島まで3450km)

5/25-26

遼寧が尖閣監視任務
を持つ東部戦区海軍
艦艇4隻と訓練

魚釣島

大東諸島

硫黄島

南鳥島

4/1-2

山東が東部戦区統合訓
練で海上封鎖を実施

6/7-19

空母2コ編隊で訓練

沖ノ鳥島

スキージャンプ式空母は第1
列島線で領域拒否 (AD)

第1列島線

グアム

第2列島線

○ カハールト式空母は第2
列島線で接近阻止 (A2)

○ 練度が上がれば、同
一戦域内で、カハールト式空
母の早期警戒機でスキージャ
ンプ式空母艦載機を統制
するクロスオペレーションも否定
できず

日中の対応姿勢

中谷防衛大臣閣議後記者会見（6/10）

- 中国側に対し、海軍の活動が日本の安全にとって**脅威にならないよう申し入れた**、と表明
 - 引き続き警戒監視活動に万全を期すとともに、情報を適時・適切に公表し、力による一方的な現状変更やその試みを抑止する、**わが国の意思と能力を示していく**
- （資料源：NHK20250610）

吉田統合幕僚長記者会見（6/12）

- 偶発的な衝突を誘発する可能性があり、深刻に懸念。より一層、警戒監視を厳正に実施していく
 - （接近は）故意と認識。警戒監視を緩めれば（相手を）助長。**抑止の意志と能力を堅持していく**
- （資料源：産経新聞20250612）

中国外交部報道官定例記者会見（6/12）

- 中国が関連海空域で行っている活動は**国際法や国際慣習に完全に符合**
- 今回の問題については**防衛当局どうしが意思疎通**を行っている
- **日本の艦艇・航空機が中国の通常の軍事活動に対して接近偵察を行っていることが海と空の安全リスクを引き起こす根本的な原因**。日本に対して危険な行為をやめるよう促す

中国国防部報道官定例記者会見（6/13）

- 遼寧・山東の空母編隊の西太平洋等での定例訓練時に、**日本の艦艇・航空機が頻繁に接近・攪乱をし、故意に危険行為に及んだ**。我々は強烈に不満であり、日本側に厳正に申し入れた
- 空母編隊の訓練は公海上であり、いかなる特定の国家や目標に対するものでなく、**国際法・国際慣習に符合**。日本の艦艇・航空機が**中国の訓練区域に乱入**したことに對する中国側の関連処置は合法適切であり、全過程はプロフェッショナルで自制の効いたものだ
- 日本に危険な挑発行為をやめ、海空域での不測事態を誘発しないよう要求する

- 日本の申し入れに対し、**自己正当化の認知戦**を徹底
- 日本の「**意思と能力**」を**具体化**しない限り、意思疎通は平行線

中国の進化するA2/ADへの対応提言

接近阻止(A2)

領域拒否(AD)

巡航ミサイル数
400発
(1,500km以上)

魚釣島

大東諸島

硫黄島

南鳥島

沖ノ鳥島

準中距離ミサイル
1,300発
(1,000~3,000km)

中距離ミサイル
500発
(3,000~5,500km)

グアム

日本は、南鳥島、硫黄島、沖ノ鳥島
大東諸島及び
長距離ドローンを最大限活用し、
米国と連携した警戒監視態勢を
早急に強化すべき

カハール式空母戦力化以降は、弾
道・巡航ミサイルに限られていた
接近阻止に、空母打撃群による阻
止力が強化